

NPO法人 森づくり奈良クラブ

<会報 第88号>

事務局：(公財)奈良県緑化推進協会内
〒634-0033 橿原市城殿町459
TEL 0744-26-0200
FAX 0744-26-0201
メールアドレス：gvnc@nifty.com
ホームページ：
<http://gvnc.eco.coocon.jp>



◇夏のイベント<自然観察・たたき染め>を無事開催

8月13日土曜日「緑の募金公募事業」の一環のイベント。取組みを開始したばかりの冒険の森で自然観察会と、子ども交流館でたたき染め体験会を計画通り開催できました。

オミクロン株の蔓延や続く猛暑で開催も危ぶまれましたが、綿密な計画と熱意で、3家族11人のご参加をいただき、朝10時からスタート。整備し始めたばかりの冒険の森は元気な子供たちの声がひびき、説明役の森林インストラクターの説明も弾んでいました。

子ども交流館に場所を移した「たたき染め」体験では、講師役の女性会員が事前に自宅から用意した植物を使って、染め上げ、鮮やかな色に仕上がるハンカチに一同満足のご様子でした。

また、新たな企画を立案して更に盛大にイベントをしたい…と思った暑い夏の日でした。



この四半期のTOPIX

1. NEW (奈良市地球温暖化防止協議会) 主催の出前講座を開催

NEW事務局を通じて奈良市内の児童館から「森の恵みを楽しむクラフト体験」講座の講師派遣の依頼があり、7月29日金曜日会員4名が講師として、大勢の小学生の待つ児童館を訪問しました。コロナ蔓延で思うように遊んだり自由な行動のできない子供たちに、森林の大切さを説明しつつ指導しました。

遊ぶことが大好きな子供たちにクラフトは最適。講師陣も真剣に作ろうと頑張る姿に思わず力が入ったようです。

夏休みの一つの思い出になってくれたら…と願うおじいさんたちでした。



2. 広報誌「奈良きれいに暮らす奈良県スタイルジャーナル Vol21」に活動が掲載される

8月7日(日)の自主活動に、奈良県の広報誌(上記)の編集担当の方3名が取材に来られ、奥理事長・奥村理事へのインタビューと、当日の野外活動に同行されました。

旧三角点で危険なナラガレ枯損木の伐採や間伐作業、下草刈りなどを実際に確認いただいたうえで、当クラブの成り立ちから現在までを奥・奥村から説明。活動に大いに賛同していただいて記事にしてくれました。

広報誌は下記で検索できますが、掲載号はもう少し先の発行になりそうです。

[きれいに暮らす奈良県スタイルジャーナル/奈良県公式ホームページ \(pref.nara.jp\)](#)



二昔前頃の矢田山ボランティア活動は

奥村 伸一



今の「子どもの森」とも呼ばれていなかった、二十数年前のボランティア活動を思い出してみました。

子ども情報館はまだなくて、メンバーは空き地にブルーシートを敷いて集まり、広場の草刈りをしていました。

南側の芝生広場は腰丈ほどの草が一面に広がっていて、それを皆で巻き落としをして、憩える広場へと変えていきました。その当時の道具と言えば、草刈り鎌と鋸だけだったように思います。

それでも例会にはいつも20名～30名ほどが集います。その後、道具も増えて刈払機が使用できるようになると、放置棚田の叢を二棚田から参棚田にわたり全面刈り取りました。



「緑の募金」公募事業に申請し許可を受けて、毎年二枚の棚田から参枚の棚田の草を刈り取りましたが、長靴の足が取られるような泥田に近い湿田ながら皆で楽しく汗を流して刈り払ったのが思い出されます。

年を越え三月の例会日には、植樹を行いました。当時植えた樹種としてヤマザクラ・ムラサキシキブ・グミ・渋ガキ・甘ガキ・ホウノキなど、様々な小低木を植え付けました。振り返れば時が過ぎた今、ヤマザクラ、カキ、グミ、ホウノキぐらいいか残っていないように思われます。

藪を刈りだすとヘビ(アオダイショウ・マムシなど)がうろつき、小鳥の巣もありました。リスの顔も見ました。

そのような思いをして整備した棚田も一年も手入れをしないと元の木阿弥となり、藪におおわれてしまいます。それでも現在、カキを植樹した部分だけは毎年草刈りを欠かさないので、秋のカキの収穫期は喜びの時期となります。

現在、当クラブも会員数が減少し、満足な活動も出来にくくなってきましたが、懲りずに汗を流して元気に頑張っていこうと思っています。



かつての棚田



巨木となったホウノキ

1. 毎月第二土曜の定例活動・・・「緑の募金」公募事業：冒険の森の整備作業を中心に実施

- 7月 9日 天気：曇り 参加15名 冒険の森整備の初日の整備。午後頂上展望台整備
- 8月13日 天気：晴れ 参加15名、イベント11名 冒険の森、自然観察・たたき染めイベント。他にR308沿線整備。
- 9月10日 天気：曇り 参加14名 冒険の森整備、平成の森草刈り

7月から新たな緑の募金公募事業「冒険の森」の整備活動が開始です。初日は、導入路から林内の通路とその周辺の整備からスタート。参加者で確認すると冒険の森はやはりかなり荒れていました。倒木の除去、最も危険な枯損木除去、茂る下草刈りから実施。8月は冒険の森の自然観察とたたき染めのイベント11名が参加してくれました。

9月から本格的な森内の整備。安心して楽しめる森に作業を進めていきます。



2. 毎月第四土曜の定例活動

- 7月23日 天気：晴れ 参加10名 みんなの森の上部、下部に分かれて草刈りを中心に実施
- 8月27日 天気：曇り 参加10名 みんなの森下部柿畑整備、平成の森草刈り、もみじ谷倒木処理と草刈り
- 9月24日 天気：晴れ 参加13名 みんなの森上部育苗地、梅の木周辺の整備。元明天皇陵横の草刈り

みんなの森上部・下部の草刈りや管理道の整備を中心に、平成の森の草刈り、もみじ谷の保全、平成の森の草刈りなど中心に実施。手付かずだった、みんなの森の上部森林の遊歩道整備や育苗地について草刈りを中心に整備し、秋以降苗の植え付けや灌木処理、管理道保全などにも取り組む予定。もみじ谷は緑の募金活動終了後の草刈りや倒木処理などのアフターケアを今後も行います。奈良市NEWのイベントに向けて元明天皇陵横の草刈りも完了しました。



3. 自主活動・・・林野庁助成事業：矢田山三角点から頂上展望台沿線整備

- 7月3日(日) 雨天のため中止 □7月20日(水) 天気：晴れ 参加6名 旧三角点南側の桧林間伐処理
- 8月7日(日) 天気：曇り 参加10名 旧三角点周辺整備 ■8月18日(水) 雨天のため中止
- 9月4日(日) 天気：晴れ 参加9名 中間部の枯損木伐採・間伐
- 9月21日(水) 天気：曇り 参加6名 まほろば展望台下檜林の間伐

林野庁助成事業「矢田山三角点から頂上展望台への沿線整備」の旧三角点から頂上展望台に向けた間伐等を中心に取組みました。旧三角点及びその南側桧林のナラガレ枯損木処理は概ね完了。旧三角点から猪又タバを経て管理道に繋がる踏み跡も整備完了。その後頂上展望台に続く管理道両側の間伐と枯れた桧の伐採に引き続き取り組みます。

9/7は奈良県の広報誌県連の取材もあり枯損木処理の作業模様が掲載されることとなりました。



チェーンソーよもやま話



清原 正彦

シリーズで、チェーンソーに関する様々なお話を掲載しています。但し、お話しする内容には、私見も含まれていることをご了承ください。

第2話 《安全講習》

企業に雇われて伐木作業に従事する方は、「チェーンソーによる伐木等特別教育」を受ける必要があります。

この講習は、労働安全衛生法に基づいて安全に伐倒作業を行うために設けられている制度で、18時間(3日間)、料金18,000円位をかけてこの講習を受けないと、従業員を伐木の業務につけてはならないとされています。(個人的にチェーンソーを使用するのであれば必要なし)

但し、この講習は事故を起こさず安全に作業を行うためのものであって、決して伐倒の技量を高めるための講習ではありません。

いわば、受講者は免許とりたての若葉マークのドライバーのようなもの。免許証はもらったけれど運転はハラハラドキドキ。スムーズな走りをこなすにはこれからまだまだ練習が必要な状態です。

ところがどう勘違いしたのか、この講習で技量が付いたと言わんばかりに『先日「伐木等の業務」に関する特別教育完了した者が作業しました』と動画をアップされておられる方もいます。



<https://www.youtube.com/watch?v=1chhVwSiaLo> (ご覧の通り伐倒手法も適切でなく危険極まりません)

「チェーンソーによる伐木等特別教育」の意味と意義をどうぞ勘違いされませんように。

誤解のないように申し上げますが、「チェーンソーによる伐木等特別教育」は必要ないと言っている訳ではありませんよ。

そして、技量を高めたい方は、「森づくり・奈良クラブ」に入会され、しっかりと学習されることをお勧めします。(まずはメールでご連絡下さい gvnc@nifty.com)



案内：NEW (奈良市地球温暖化防止協議会) 主催の森林体験講座

10月下旬に当クラブも参加している奈良市主催の森林体験講座が開催されます。

「里山の森林整備と森の恵みを楽しむ会」という名称で、～竹伐り・竹を使ったクラフト作りなど里山整備について学び、森の恵みを満喫しましょう～をコンセプトに下記要領で開催され、当クラブは竹伐りやクラフト指導を中心に講師として参加します。

会員の皆様のご協力方よろしくお願ひいたします。(詳細は奥理事長まで)

◆日時 2022年10月29日13時半～15時半
(集合は同日の午後13時15分)

◆場所 奈良市奈良坂町 元明天皇陵西側付近

◆参加費 100円/人 (保険料)

◆参加者 奈良市の保護者含む小学生以上30名

◆持ち物 水筒・軍手・防止・タオル・雨具・防虫スプレー等

◆締切り 2022年10月19日

※参加者としての参加もご検討ください

■発行人 NPO法人 森づくり奈良クラブ
奥 恵一郎

〈後記〉

今号にも会員から投稿をいただきました。ありがとうございました。

会報を継続していくためにも会員の皆さんの投稿をお願いいたします。

(衛藤)